

1. 子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査の結果

(1) 調査の目的

本調査は、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、第2期子ども・子育て支援事業計画を策定するための基礎資料を得ることを目的に実施したものです。

(2) 調査対象

0歳から11歳までの子どもの保護者

- ①就学前の子どもの保護者
- ②小学校1年生から5年生の子どもの保護者

(3) 調査期間

令和元年9月9日～令和元年10月23日

(4) 調査方法

該当する保護者へアンケート用紙を郵送配布し、郵送にて返信回収・調査を実施

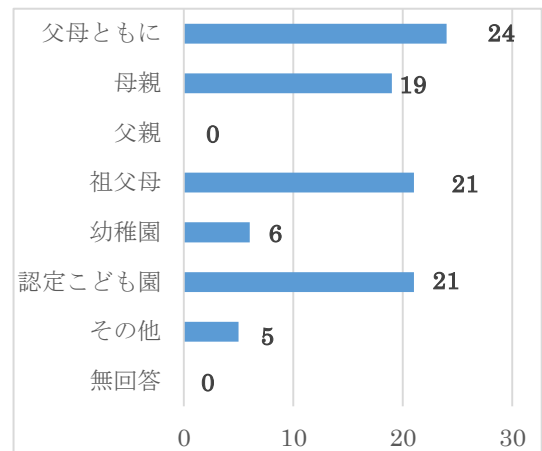
(5) 調査結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
① 就学前の子どもの保護者	59	40	67.8%
② 小学校1年生から5年生の子どもの保護者	58	28	48.3%
合計	117	68	58.1%

主な調査結果 * 就学前の子どもへの保護者

■子育てに日常的に関わっている人（施設）について （複数回答）

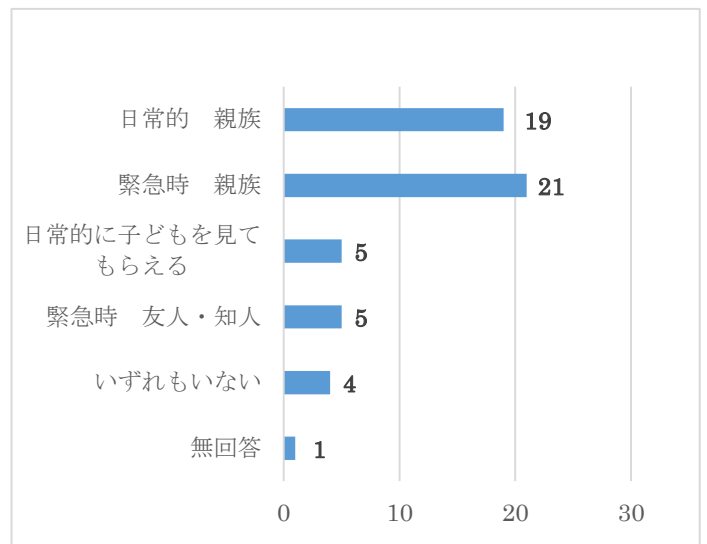
回答総数96人のうち、「父母ともに」の回答が24人と最も多く、次いで「祖父母」「認定こども園」の回答が21人となっております。



■子どもを見てもらえる親族・知人の有無について （複数回答）

回答総数55人のうち、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の回答が21人と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の回答が19人となっております。

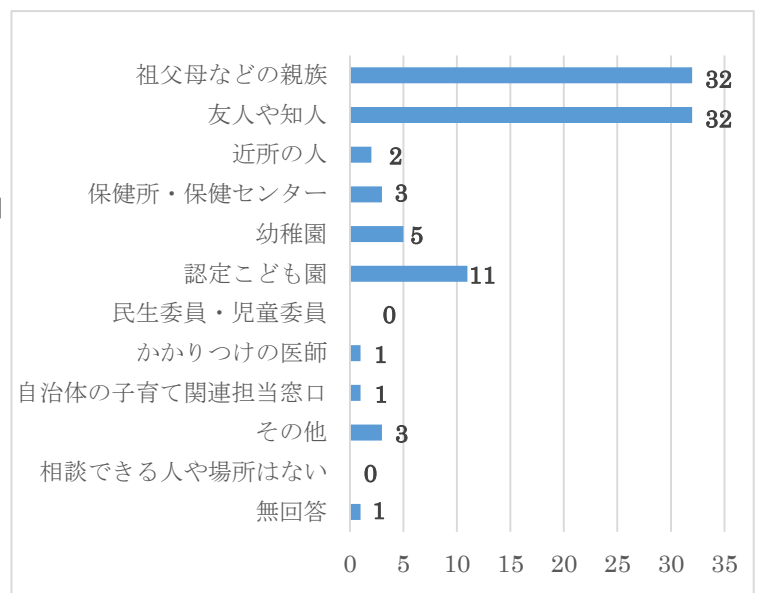
また、日常的・緊急的にみてもらえる親族や友人・知人が「いずれもない」の回答が1割程度あります。



■子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無について （複数回答）

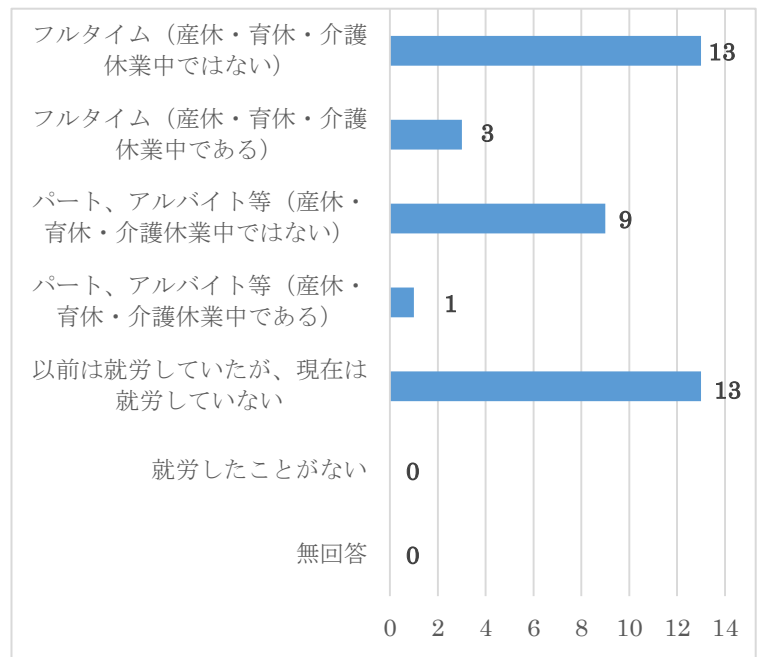
子育てに関して気軽に相談できる人がいると答えた90人のうちで、「祖父母等の親族」と「友人や知人」の回答がともに32人と最も多く、次いで「認定こども園」の回答が11人となっております。

また、気軽に相談できる人や場所がない、ないと答えた方はおりませんでした。



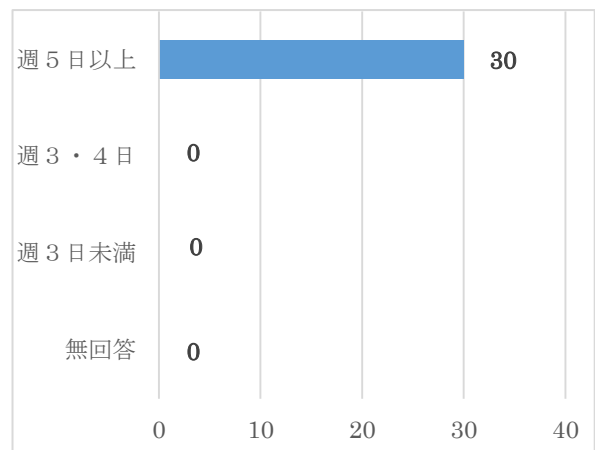
■母親の現在の就労状況について

回答総数40人のうち、「フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）」
「以前は就労していたが現在は就労していない」の回答が13人と最も多く、
次いで「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中ではない）」
の回答が9人となっております。



■現状の保育利用日数（1週間当たり）について

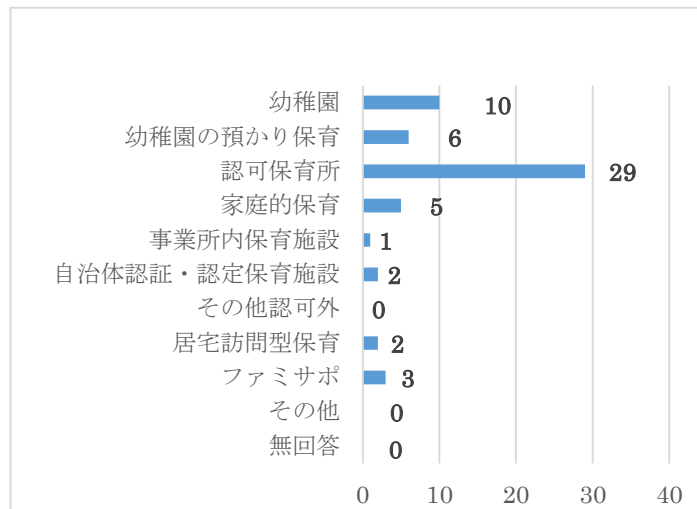
回答総数30人のうち、「1週間に5日以上」
の回答が30人となっております。
現在利用していただいているすべての方が
1週間の利用日数が5日以上となっております。



■希望する保育事業について（現状の利用にかかわらずに希望したい事業）
（複数回答）

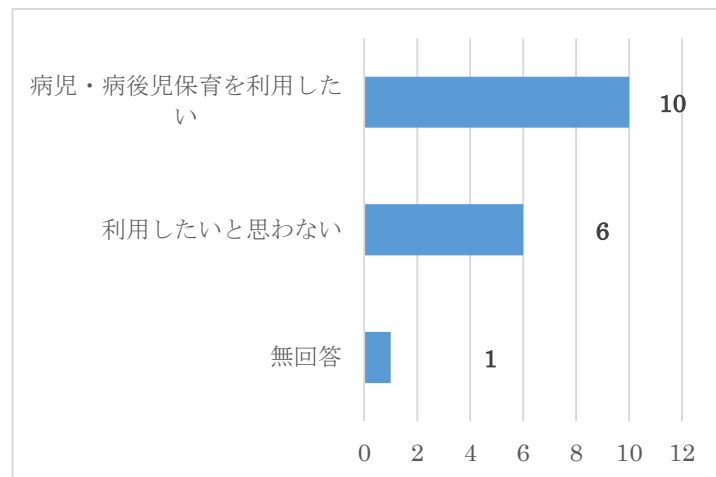
回答総数58人のうち、「認可保育所」の回答が29人と最も多く、次いで「幼稚園」の回答が10人、「幼稚園の預かり保育」の回答が6人となっております。

上記以外では、ファミリーサポートセンター、事業所内保育等のニーズがあります。



■病児・病後児保育の利用希望について
（子どもの病気やけがで父母が仕事を休んだことのある人からの回答）

回答総数17人のうち、子どもの病気やけがで父母が仕事を休んだことのある人の中では、「病児・病後児保育を利用したい」の回答が10人と最も多く、「利用したいと思わない」の回答が6人となっております。

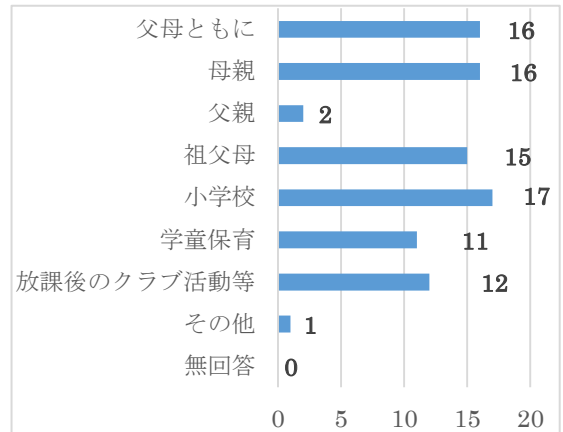


主な調査結果 * 小学校1年生から5年生の子ども保護者

■子育てに日常的に関わっている人（施設）について

（複数回答）

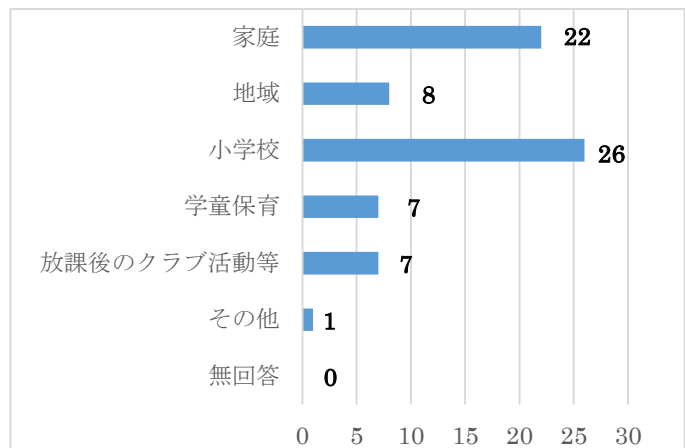
回答総数が90人のうち、「小学校」の回答が17人と最も多く、次いで「父母ともに」、「母親」の回答が16人となっております。



■子育てにもっとも影響すると思われる環境

（複数回答）

回答総数71人のうち、「小学校」の回答が26人と最も多く、次いで「家庭」の回答が22人となっております。

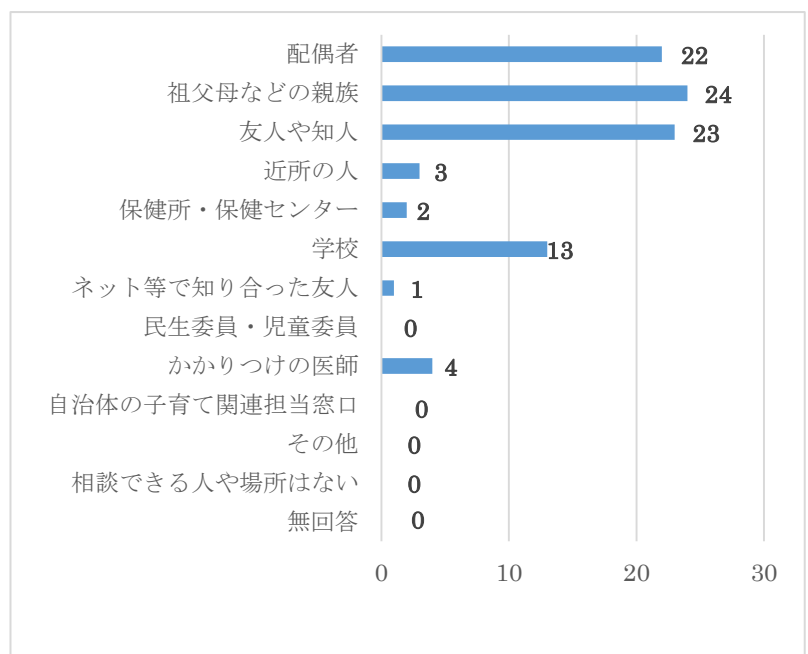


■子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無について

（複数回答）

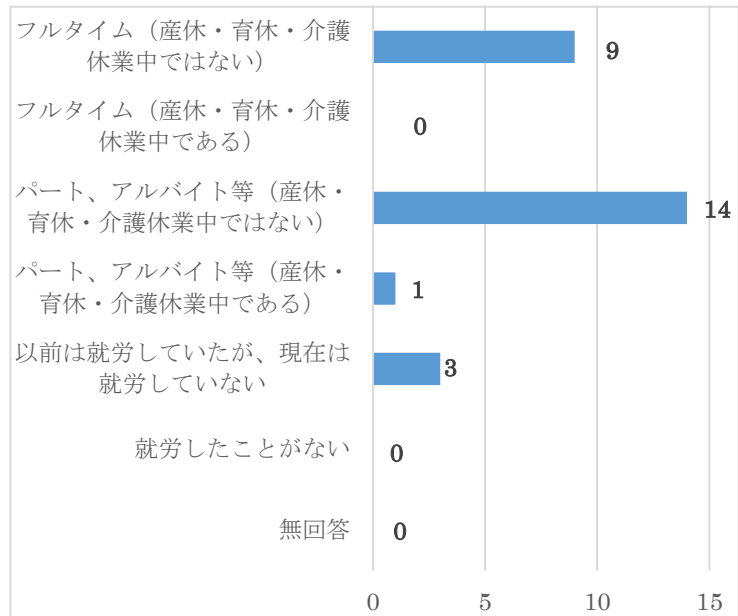
子育てに関して気軽に相談できる人がいると答えた92人のうちで、「祖父母等の親族」の回答が24人と最も多く、次いで「友人や知人」の回答が23人となっております。

また、気軽に相談できる人や場所がない、ないと答えた方はおりませんでした。



■母親の現在の就労状況について

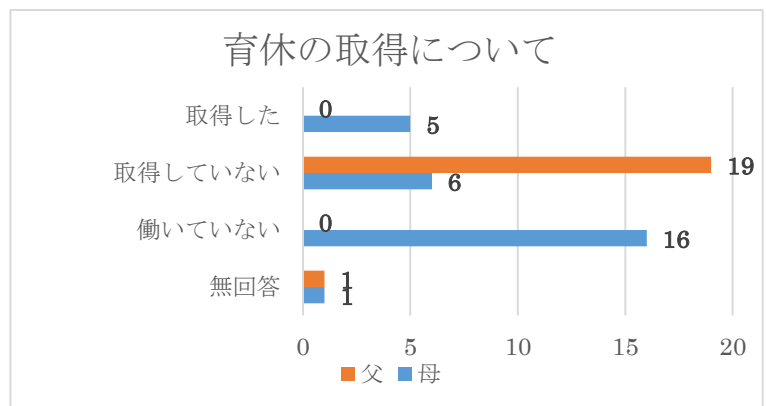
回答総数27人のうち、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中ではない）」の回答が14人と最も多く、次いで「フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）」の回答が9人となっております。



■職場の両立支援制度について（育児休業の取得について） （母）

回答総数28人のうち、「働いていなかった」の回答が16人と最も多く、次いで「取得していない」の回答が6人となっております。

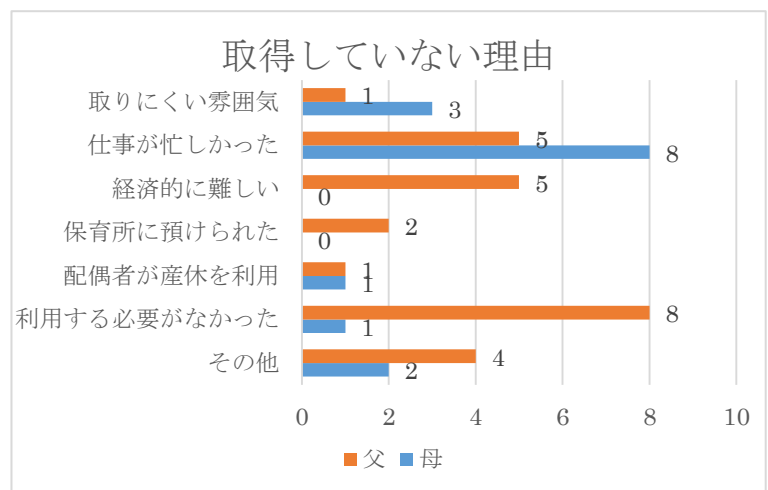
取得していない理由については「仕事が忙しかった」の回答が8人と最も多くなっております。



（父）

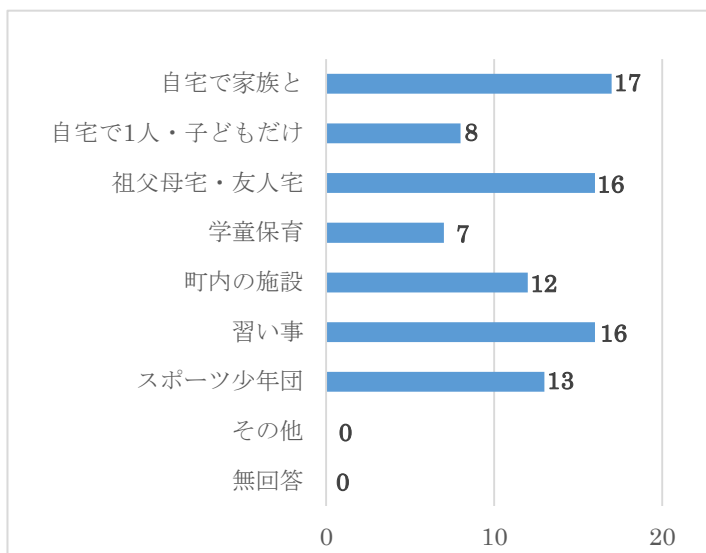
回答総数20人のうち、「取得していない」の回答が19人と最も多くなっています。

取得していない理由については「仕事が忙しかった」、「経済的に難しい」の回答が10人と母親よりも多くなっています。



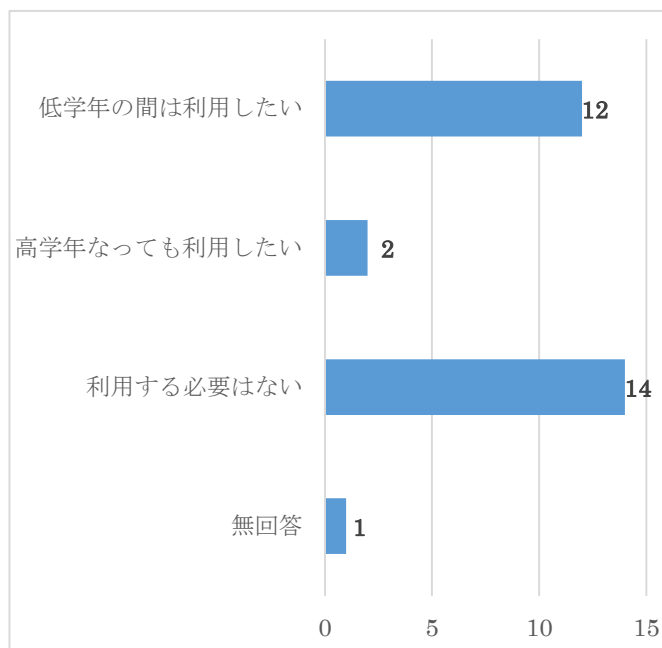
■放課後の過ごし方

回答総数89人のうち、「**自宅で家族と**」の回答が17人と最も多く、「**祖父母宅・友人宅**」、「**習い事**」の回答が16人、「**スポーツ少年団**」の回答が13人となっております。



■長期休業中の放課後子ども教室・放課後児童クラブの利用について

回答総数29人のうち、「**利用する必要はない**」の回答が14人と最も多く、「**低学年の間は利用したい**」が12人、「**高学年になっても利用したい**」の回答が2人となっております。



2. ニーズ調査のまとめ

・子どもの養育環境

前回の調査と同様に両親だけではなく祖父母にも養育してもらおう環境が整っている家庭が多いが、祖父母の身体的な問題などから養育してもらおうことを申し訳なく思っている保護者もいる。また、友人にも見てもらえるが、地域や近所に子どもを預けることはあまりないようである。

・親の就労

ひとり親家庭も含まれるが、全体の傾向として、父は、ほぼフルタイムで就労しており、母もフルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）で就労している方が多い。両親の場合、父より母の方が子育てへの関与が大きいとみられる。

育児休業の取得については、父は、仕事が忙しかったという回答に加え、経済的に難しかったとの回答が多かった。母も取得していない状況が多く、仕事が忙しかったという回答が多かった。

・保育

日数等に関しては、1週間に5日間以上の利用者が全員で、延長保育の必要性は低いようである。休日保育に対するニーズについては、前回と変わりなく必要ないという回答が土曜日・日曜日、祝日ともに大半を占めているが、少数の利用希望者がいる。

・子育て支援事業

① 子育て支援センター

利用頻度が少なく、希望しない保護者が64%を占めているが、日数増の希望や今後利用したいと回答した方も23%を占めた。

② 病児・病後児保育

就労している母親も多く、58パーセントの保護者が利用したいと回答している。

③ 一時預かり保育

認定こども園・幼稚園での一時預かりの希望者が多い。前回の調査と変わりなく日中の預かり希望が多い。

④ 学童保育

放課後の過ごし方については、低学年の間は学童保育を利用したいと考える、もしくは利用している保護者が多い。高学年になるほど習い事やスポーツ少年団等の活動が増え、学童保育のニーズは下がる傾向にある。

・幼児無償化について

70パーセント以上の保護者が生活に余裕ができたと回答している。とてもありがたい、助かっているとの意見の一方で、無償化により利用希望者が増加したことで保育の質の低下を心配している保護者の声もあった。